

# CASBEE<sup>®</sup> スマートウェルネスオフィス 評価認証書

一般財団法人ベターリビングCASBEE評価認証業務規程  
第7条の規程に基づき審査した結果、CASBEE-ウェル  
ネスオフィスによる評価が的確であると認証する

## 評 価

★★★★★ Sランク

建 物 名 称 : ダイダン株式会社 北陸支店  
申 請 者 : ダイダン株式会社  
建 設 地 : 石川県金沢市尾張町1丁目14、17、18-1、19-1、20-1

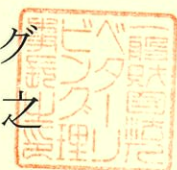
評 価 ツ ー ル : CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版  
総合環境性能評価 : CASBEE建築認証 (認証番号 : CBL-CAS建築-0015-21)  
有 効 期 限 : 2026年12月13日

2021年12月14日

CASBEE評価認証機関


一般財団法人 ベターリビング


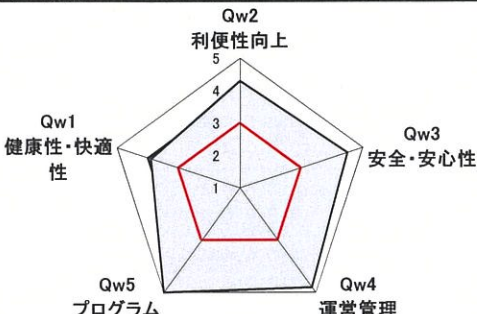
理 事 長 井 上 俊 之



# CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |

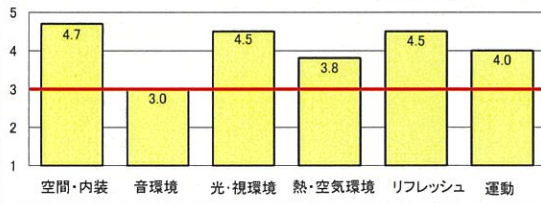
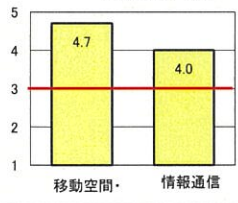
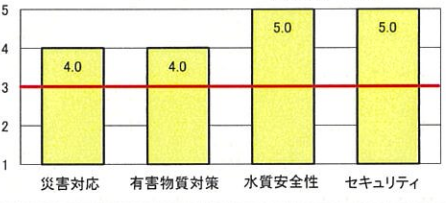
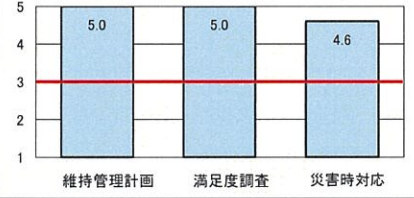
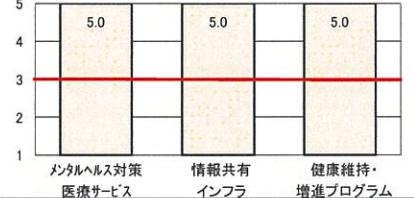
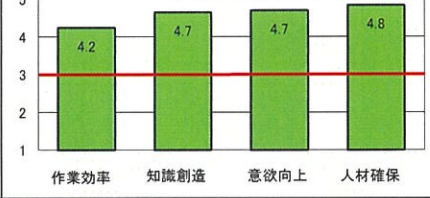
■使用評価マニュアル：CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-WO\_2021(v1.0)

|                 |                   |        |                   |   |       |
|-----------------|-------------------|--------|-------------------|---|-------|
| <b>1-1 建物概要</b> |                   |        | <b>1-2 評価パターン</b> |   |       |
| 建物名称            | ダイダシ株式会社 北陸支店     | 階数     | 地上3階              | 評価対象  | パターン3 |
| 建設地             | 石川県金沢市尾張町1丁目6番15号 | 構造     | S造                | <b>1-3 外観</b>   |       |
| 用途地域            | 商業地域、準防火地域        | 平均居住人員 | 25人               |  |       |
| 地域区分            | 6地域               | 年間使用時間 | 1,950時間/年(想定値)    |   |       |
| 建物用途            | 事務所               | 評価の段階  | 設計段階(実施設計・施工)評価   |   |       |
| 竣工年             | 2022年5月 予定        | 評価の実施日 | 2021年10月28日       |   |       |
| 敷地面積            | 531㎡              | 作成者    | (株)イェタス 佐藤        |   |       |
| 建築面積            | 393㎡              | 確認日    | 2021年11月5日        |   |       |
| 延床面積            | 998㎡              | 確認者    | (株)イェタス 佐藤        |   |       |

|   |   |
|---|---|
| <p><b>2-1 総合評価</b></p> <p>Rank: <b>S</b>      86.2 / 100</p>  <p>S ランク; ★★★★★ &gt; 75<br/>         A ランク; ★★★★☆ ≧ 65<br/>         B+ランク; ★★★☆☆ ≧ 50<br/>         B-ランク; ★★☆☆☆ ≧ 40<br/>         C ランク; ★☆☆☆☆ &lt; 40</p> | <p><b>2-2 大項目の評価(レーダーチャート)</b></p>  <p>Qw2 利便性向上 (Score: 4.3)<br/>         Qw3 安全・安心性 (Score: 4.5)<br/>         Qw4 運営管理 (Score: 4.8)<br/>         Qw5 プログラム (Score: 5.0)<br/>         Qw1 健康性・快適性 (Score: 3.9)</p> |
|---|---|

**2-3 中項目の評価(バーチャート)**

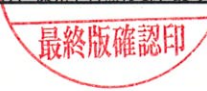
基本性能

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>Qw1 健康性・快適性</b>      Score: 3.9</p>  <p>空間・内装 4.7, 音環境 3.0, 光・視環境 4.5, 熱・空気環境 3.8, リフレッシュ 4.5, 運動 4.0</p> | <p><b>Qw2 利便性向上</b>      Score: 4.3</p>  <p>移動空間 4.7, 情報通信 4.0</p>  | <p><b>Qw3 安全・安心性</b>      Score: 4.5</p>  <p>災害対応 4.0, 有害物質対策 4.0, 水質安全性 5.0, セキュリティ 5.0</p> |
| <p><b>運用管理</b></p> <p><b>Qw4 運営管理</b>      Score 4.8</p>  <p>維持管理計画 5.0, 満足度調査 5.0, 災害時対応 4.6</p>               | <p><b>プログラム</b></p> <p><b>Qw5 プログラム</b>      Score = 5.0</p>  <p>メンタルヘルス対策 5.0, 医療サービス 5.0, 情報共有インフラ 5.0, 健康維持・増進プログラム 5.0</p> | <p>参考: 知的生産性の視点に基づいた評価</p>  <p>作業効率 4.2, 知識創造 4.7, 意欲向上 4.7, 人材確保 4.8</p>                    |

**3 設計上の配慮事項**

**総合**  
 本建物は、既に竣工し運用している九州支社、四国支店、北海道支店と同様にZEB (ZEB Ready) を目指したオフィスビルである。  
 省エネ性能の向上だけでなく、地域性を考慮しガスヒートポンプの採用、バイオフィリックデザインによる執務室の緑化、グレアを抑えた照明器具によるタスクアンビエント照明を採用することで、利用者個々のニーズに対応で

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>Qw1 健康性・快適性</b><br/>             伝統的な意匠を取り入れ、木質材料を活かした次世代小規模オフィスを目指し、外観は金沢のまちなみに調和し、内装は集成材やCLTなど自然素材を活用している。設備の面ではIoT技術を利用することで、細やかな空</p> | <p><b>Qw2 利便性向上</b><br/>             カジュアルなコミュニケーションからフォーマルな会議まで、用途によって使い分けられる多様な空間を設けており、全ての執務者にとって居心地の良いオフィス設計を行っている。縁側にはソファを配しリフレッシュ</p>   | <p><b>Qw3 安全・安心性</b><br/>             太陽光発電設備、発電機能付きガスヒートポンプ、EV自動車によるV2Bの導入により、非常時においても支店運営が可能な計画としている。また、セキュリティ面においても十分な配慮を行っており、安全性の高い建物を目指す</p>              |
| <p><b>Qw4 運営管理</b><br/>             BEMS (自社製品: リモビス) によるエネルギーの見える化や綿密な維持管理計画の作成等、快適なオフィス環境の維持に努めている。</p>                                       | <p><b>Qw5 プログラム</b><br/>             従業員が、快適に働けるようメンタルヘルスクアや医療サービスに積極的に取り組んでいる。また、コロナウイルスによるリモートワーク拡大で需要が高まっている情報の電子化に対応可能な社内インフラを整備している。</p> | <p><b>その他</b><br/>             2つのコンセプト、「まちなみに調和する外観」、「内観は自然素材を活用したオフィス空間」をもとに、鉄骨造一部木造(集成材やCLT)による建物とした。オフィスの外周に移動空間を配置し、外部との熱環境的バッファゾーンを設け、採光や自然換気を取り入れる設計</p> |



## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 ダイダシ株式会社 北陸支

| 計画上の配慮事項       |  |
|----------------|--|
| 総合             | 本建物は、既に竣工し運用している九州支社、四国支店、北海道支店と同様にZEB(ZEB Ready)を目指したオフィスビルである。<br>省エネ性能の向上だけでなく、地域性を考慮しガスヒートポンプの採用、バイオフィリックデザインによる執務室の緑化、グレアを抑えた照明器具によるタスクアンビエント照明を採用することで、利用者個々のニーズに対応できる空間を実現している。 |
| Qw1<br>健康性・快適性 | 伝統的な意匠を取り入れ、木質材料を活かした次世代小規模オフィスを目指し、外観は金沢のまちなみに調和し、内装は集成材やCLTなど自然素材を活用している。設備の面ではIoT技術を利用することで、細やかな空調・照明制御が可能であり、オフィスのレイアウト変更にも柔軟に対応できる計画としている。  |
| Qw2<br>利便性向上   | カジュアルなコミュニケーションからフォーマルな会議まで、用途によって使い分けられる多様な空間を設けており、全ての執務者にとって居心地の良いオフィス設計を行っている。縁側にはソファを配しリフレッシュスペースとしても利用し、2階と3階の移動は縁側に配置した階段を利用することで活発なコミュニケーションも期待できる。                            |
| Qw3<br>安全・安心性  | 太陽光発電設備、発電機能付きガスヒートポンプ、EV自動車によるV2Bの導入により、非常時においても支店運営が可能な計画としている。また、セキュリティ面においても十分な配慮を行っており、安全性の高い建物を目指している。   |
| Qw4<br>運営管理    | BEMS(自社製品:リモビス)によるエネルギーの見える化や綿密な維持管理計画の作成等、快適なオフィス環境の維持に努めている。<br>また、定期的に従業員へのアンケートを実施し、結果に基づき運用会議や定期報告会で改善案を検討することできめ細かな環境改善につとめる。  |
| Qw5<br>プログラム   | 従業員が、快適に働けるようメンタルヘルスケアや医療サービスに積極的に取り組んでいる。また、コロナウイルスによるリモートワーク拡大で需要が高まっている情報の電子化に対応可能な社内インフラを整備している。   |
| その他            | 2つのコンセプト、「まちなみに調和する外観」、「内観は自然素材を活用したオフィス空間」をもとに、鉄骨造一部木造(集成材やCLT)による建物とした。オフィスの外周に移動空間を配置し、外部との熱環境的バッファゾーンを設け、採光や自然換気を取り入れる設計とした。   |

